

にっしん

AGRICULTURAL COMMITTEE

農業委員会

日進市農業委員会

第4号

平成23年2月1日
編集・発行
日進市農業委員会
電話 (0561) 73-2197

だより



プチヴェール収穫風景

プチヴェール

い申し上げます。

今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

います。

本年7月に現在の農業委員は任期を迎えますが、当委員会は、引き続き日進市の農政発展のため全力で取り組んでいきます。

非常に栄養価の高い野菜です。当委員会でもこうした動きと合わせて、遊休農地の解消に結びつけられるのではないかと注目しています。

支援していききたいと思えます。

現在JAあいち尾東では、プチヴェールの特産化に取り組んでいます。プチヴェールはケールと芽キャベツとの交配種で、非常に栄養価の高い野菜です。当委員会でもこうした動きと合わせて、遊休農地の解消に結びつけられるのではないかと注目しています。

をいただき、誠にありがとうございます。

昨年夏の夏は記録的な猛暑となり、全国的に農作物が多大な影響を受けました。日進の農家の皆様も少なからず影響があったことと思います。そうした厳しい環境の中でも、自然と共存し、農作物の生産にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、農業委員会では農地利用状況調査を実施していますが、遊休化した農地も見受けられます。農地所有者の事情は様々あると思いますが、農地としての利用に努めていただくと幸いです。当委員会としても、市やJAあいち尾東等と連携し、



日進市農業委員会

会長 牧 正行

日進の「農」を守り、振興する

―農地を守る 農業委員会の使命―

日進市農業委員会の

取り組み



1 「農地の転用・売買・貸借等の議案の審議・議決」と「農地パトロール活動」

農業委員会では、毎月委員会を開き、農地の売買・貸借、また転用の議案審議及び議決を行っています。また農地パトロールを実施し、農地の有効活用の状況把握、必要な場合は、是正・指導にあたっています。

平成21年12月15日の農地法等の改正により、制度の基本が所有から利用へと転換され、農地を貸しやすく借りやすくし、農地を最大限に利用することが規定されました。これにより遊休農地の解消も一層大きな取り組みとなり、昨年内の農振農用地とその周辺を対象とした農地利用状況調査を実施しました。



農地利用状況調査

2 「遊休農地の解消・活用」と「食育」の推進

い、指導にあたります。違反転用も含め、引き続き基礎的な資源としての農地を確保し、その有効利用が図られるよう活動を行ってまいります。

農業委員会では、遊休農地解消モデル事業としての活動を行って

います。蟹甲町地内の農地を改良して、野菜を植付け、収穫しています。植付けや収穫は保育園の園児と一緒にを行っています。5月にはタマネギを収穫し、市内全保育園に配布し、給食で使っていただきました。11月には春先に植えたさつまいもの収穫を園児と共に行い、焼きいもにして食べるなど楽しい収穫祭となりました。

園児にとつても植付け、収穫、食を通じて何かを感じるきっかけになっていることと思います。こうした遊休農地解消事業の活動を広げていくことも検討しています。



タマネギ収穫体験



芋ほり体験

今後も遊休農地の活用、食育事業を継続し、農や食の大切さを伝えていきたいと思っています。



園児と一緒に給食

めだか米の誕生

岩藤新池ファーム水源の里実行委員会

磯畑

秀隆



9月の中ごろ、「おお！メダカがいっぱいいるぞ。」穂が膨らんできたイネの根元に、たくさんのメダカの稚魚を発見しました。この田んぼは、今年、遊休農地になるはずでしたが、稲の育つ里山景観の保全を願って、地主さんと有志が協力して耕作してきました。場所は、岩藤町の東部に位置した新池下の田んぼで、地域では「山田」と言われています。



昨年、地主さんの田の一部を借り、水田魚道を設置し魚類の成育を観察している田の直ぐ上です。水源は山から流れる水路です。



地域の皆さんにも米作りを体験してもらおうと、子ども会、いきいきクラブ（老人会）にもよびかけ、田植え、稲刈り、餅つきを計画しました。作業後のご飯の世話や、餅つきには婦人会の協力を得ました。

取れた米は、メダカがたくさん育った田んぼで収穫した米なので、「めだか米」と名づけました。今後も遊休農地を活用し、東部丘陵から流れ出る自然水で栽培できるこの地域の米作りを守ってきたいものと思っています。

活躍する

農業の担い手

福岡憲三
(葡萄のふくおか)

概要

本市と豊田市に316アール（3万1600平方メートル）の果樹園で、ブドウを中心とした果樹経営をしています。標高差を利用した生育や20種を超える多品種栽培など、労力の分散や収穫・販売期間の長期化を図り、昨年1月には、全国果樹技術・経営コンクールで農林水産大臣賞をいただきました。

取り組み

ブドウの直売、加工品（ジャム・ジュース）の販売をしています。また、同業者や新規栽培者の指導をはじめ、市の農業教室の講師などをしていきます。多くの種類のブドウのいりどりや形を目で楽



恭子夫人 憲三氏 長男 英憲氏

問合せ先

葡萄のふくおか

電話

052-801-8400

住所

日進市赤池町西組39-2

しみ、食して楽しんでいただくことを何よりの喜びとしています。

拡大する獣被害！



イノシシ被害

新聞等で住宅街付近にクマやイノシシといった野生動物が発見されるニュースが報道されていますが、日進市においても農作物に対する獣被害が報告されています。水田ではヌートリアによる被害が確認され、昨年はアライグマも出没し、市北東部ではイノシシによる被害も確認されました。有害鳥獣による農作物への被害が確認されましたら、日進市役所産業振興課農務係にご相談ください。



捕獲されたヌートリア



ヌートリア被害



捕獲されたアライグマ

豆情報

プチヴェールを美味しく食べる

プチヴェールを水洗いした後、2～3分程ゆでて、ドレッシングやマヨネーズなどで味わえば、野菜特有のさっぱりした甘みが楽しめます。果物と一緒にミキサーでジュースにしても栄養たっぷりおいしくいただけます。



市民農園（貸し農園）を始めてみませんか。

日進市では、市民が野菜づくり等の農業体験を楽しむことができる市民農園の環境整備を進めていますが、利用希望者が多く、区画数が足りません。

農家の方でも市民農園を開設することができますので、使っていない農地の有効活用をお考えの方は、日進市役所産業振興課田園フロンティアパーク整備室にご相談ください。



農業委員会統一選挙のお知らせ

現在の農業委員会委員の任期は、平成23年7月19日までです。今年は、任期満了に伴い、農業委員会委員が改選となります。

提出していただいた農業委員会選挙人名簿登載申請書に基づき、実施します。

全国農業新聞

経営とくらしに役立つ情報をお届けします！

農家のための情報誌『全国農業新聞』

◆発行日 週一回（金曜）

◆発行元 全国農業会議所 ◆購読料 月600円

○お申込は、農業委員会事務局へご連絡ください。

違反転用に気をつけましょう！！

農地を農地以外に転用する場合は、農地法上の許可申請（市街化区域については届出）が必要です。資材置場や粘土採取などの一時的な転用でも許可申請（届出）が必要です。違反転用した場合や、転用許可に係る事業計画どおりに転用していない場合は、事業の中止や原状回復等の命令がされる場合があります。また罰則もありますので、必ず農業委員会事務局にご相談ください。

〈違反転用及び違反転用における原状回復命令違反〉

3年以下の懲役または300万円以下の罰金

（法人は1億円以下の罰金）